

# インバウンド来訪者調査報告書

(2025年3月)

公益財団法人するが企画観光局



# 調査概要

## 【調査目的】

静岡県中部地域を訪れた外国人観光客の特性(基本属性、訪問先、消費動向等)を明らかにし、事業戦略立案や受入施策等に活用する。

### (1)調査主体

- 公益財団法人 するが企画観光局
- I love しずおか協議会

### (2)調査対象

静岡県中部5市2町(静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町)の観光関連施設を訪れた外国人観光客

### (3)調査期間(集計対象期間)

前期：2024年6月11日～9月30日

後期：2024年10月16日～2025年2月12日

※途中、調査手法の見直しがあったため、2期間に分割して実施

※調査自体は3月現在も継続中

### (4)調査場所

静岡県中部5市2町の観光関連施設61か所

- 観光案内所
- 観光スポット
- ホテル・旅館
- 飲食店
- 商業施設      など

### (5)調査方法

- 各調査場所にてアンケート用2次元コードが印刷されたチラシを配布又は配架
- 回答者は、任意のタイミングで自身のスマートフォン等から調査フォームへアクセスし、Webアンケートに回答
- 回答のインセンティブとして、回答完了画面から「富士山の画像及びフォトフレーム」がダウンロードできるページへ遷移



アンケートチラシ



インセンティブ画像の例

### (6)回答件数

前期：19件  
後期：47件  
合計：66件

# 調査項目

No.	大項目	質問内容	回答形式
1-1	導入	居住国・地域	択一
2-1	今回の訪問について	同行者との主な関係	択一
2-2		入国場所	択一
2-3		出国場所	択一
2-4		JAPAN RAIL PASSの使用	択一
3-1	“静岡県中部地域”への訪問について	これまでの訪問回数	択一
3-2		宿泊日数	択一
3-3		当地域を訪問する推奨度	択一
3-4		おすすめしたいこと	自由記述
3-5		不便だったこと	自由記述
3-6		訪問の主な目的	自由記述
3-7		旅行形態	択一
4-1～4-7	“静岡県中部地域”における1人当たり消費額	ツアー代金、域内交通費、宿泊費、飲食代、入館・体験料、土産代、その他	択一
5-1	基本情報	年代	択一
5-2		性別	択一
5-3		訪問日	択一
5-4、5-5		訪問施設(カテゴリ、施設名)	択一
5-6		GoogleMapの活用状況	択一
5-7		GoogleMapで調べた場所	自由記述
5-8		Instagramで調べた言葉	自由記述

# <調査結果>



# 調査結果のサマリ

居住国・地域	韓国、台湾
基本属性	男女半々、20代が多い
旅行形態	個人旅行、1人旅やや多い
入出国	域外イン・アウト
来静経験	初めて
宿泊傾向	当地域に0～3泊のショートトリップ
来訪理由	富士山
満足したこと	富士山、景色・自然
消費傾向	12千円/人泊(全国平均より△9千円)
GoogleMap	非常に活用
JR PASS	あまり活用していない

# 調査結果 > 基本属性 > 居住国・地域

- 日本とその他を除くと、**韓国**が最も多く、次いで**台湾**。その他の国・地域は回答が分散し特定の傾向は見られなかった。

## 居住国・地域

居住国・地域	回答数	割合
1. 日本	17	26%
2. 韓国	8	12%
3. その他	8	12%
4. 台湾	5	8%
5. タイ	4	6%
6. 米国	3	5%
7. シンガポール	3	5%
8. カナダ	3	5%
9. 英国	3	5%
10. 香港	2	3%
11. オーストラリア	2	3%
12. ドイツ	1	2%
13. インドネシア	1	2%
14. フランス	1	2%
15. イタリア	1	2%
16. インド	1	2%
17. ベトナム	1	2%
18. フィリピン	1	2%
19. 中国	1	2%
総計	66	100%

## 日本在住者の居住地域

居住地域	回答数	割合
1. 静岡市	11	65%
2. 牧之原市	2	12%
3. その他	1	6%
4. 近畿地方	1	6%
5. 関東地方	1	6%
6. 静岡県西部	1	6%
総計	17	100%

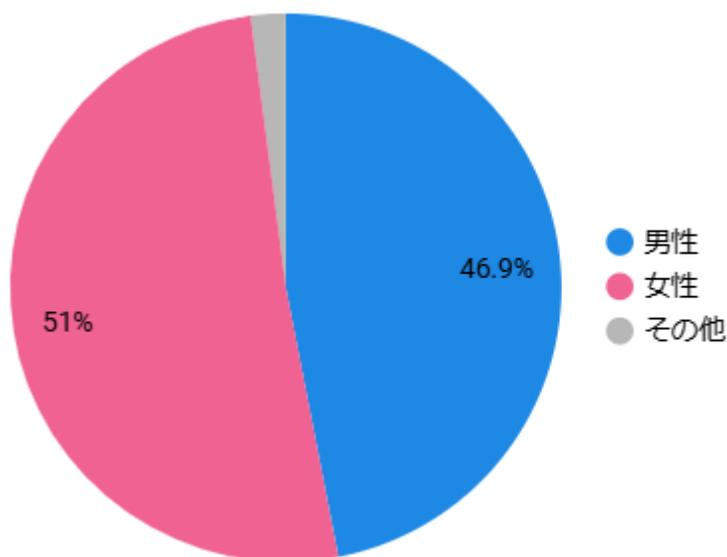
日本在住者は訪日旅行者と行動特性が異なると考えられ  
また大多数が域内居住者であったため  
次ページ以降は日本在住者を除外して集計する  
(n=49)

# 調査結果 > 基本属性 > 性別/年代

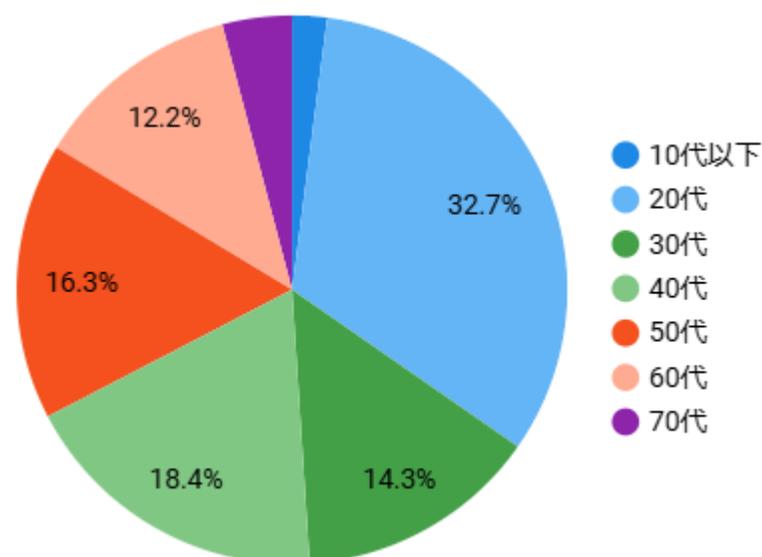
- 性別は男女がほぼ同程度であった。

- 年代は20代が最多の約33%であり、30代～60代は12～18%程度の割合となった。

性別



年代

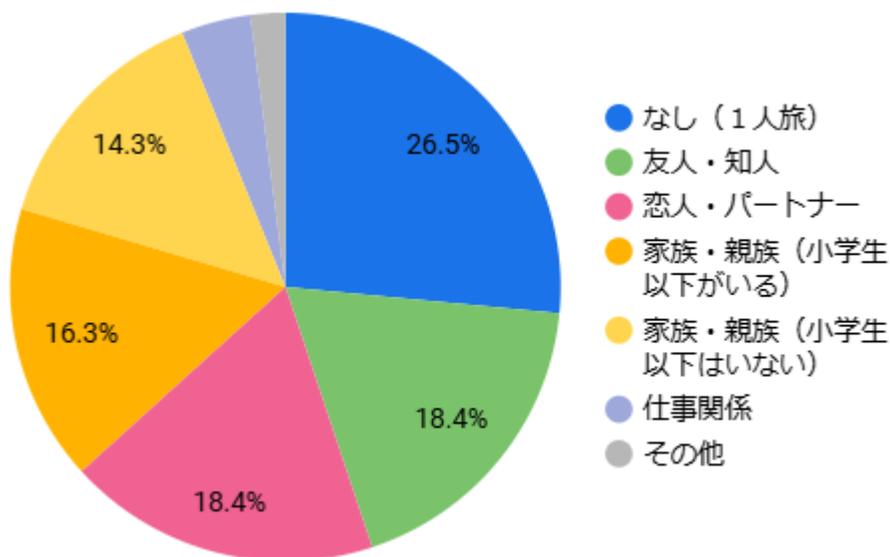


# 調査結果 > 来訪に係る動向 > 同行者種別/行程/

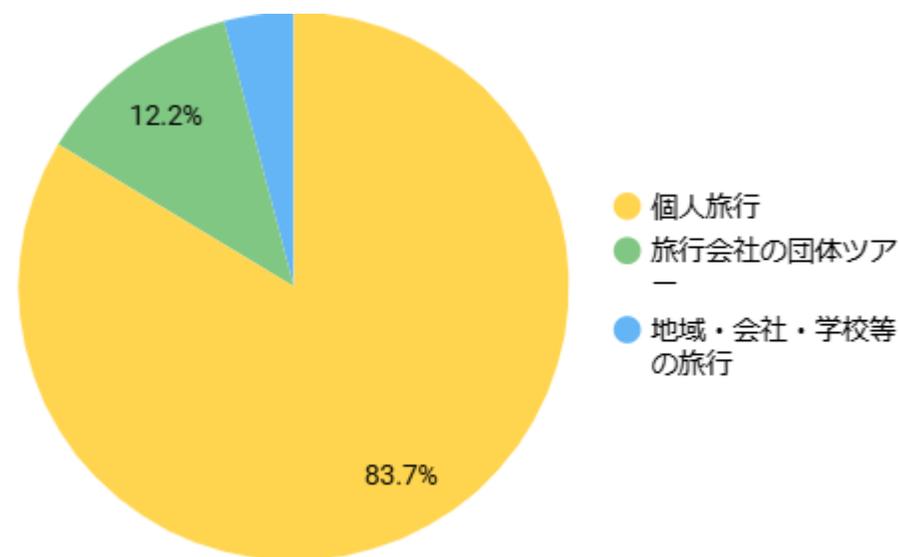
- 仕事関係を除き、各項目に偏りなく分散しているが、その中でも同行者なし(1人旅)が最多の約27%となった。

- 今回の訪問に係る行程は、約84%が個人旅行であり、団体ツアーは約12%であった。

同行者種別



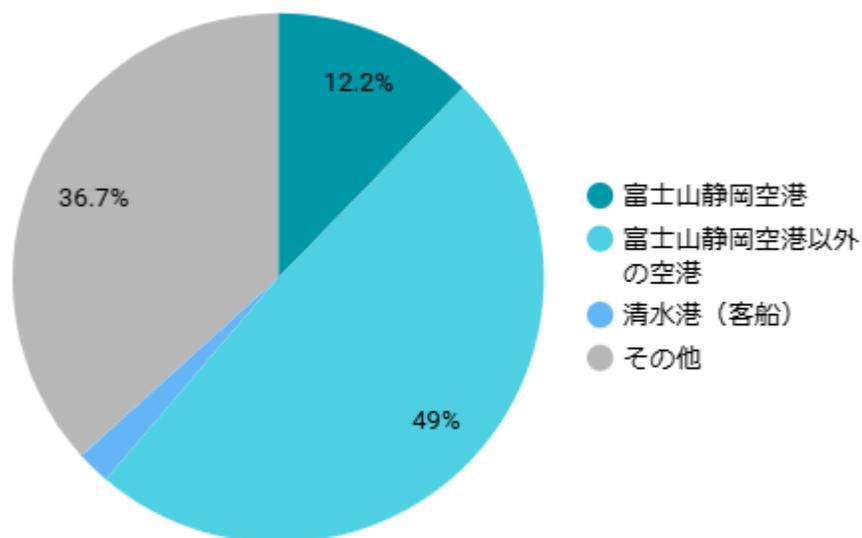
行程



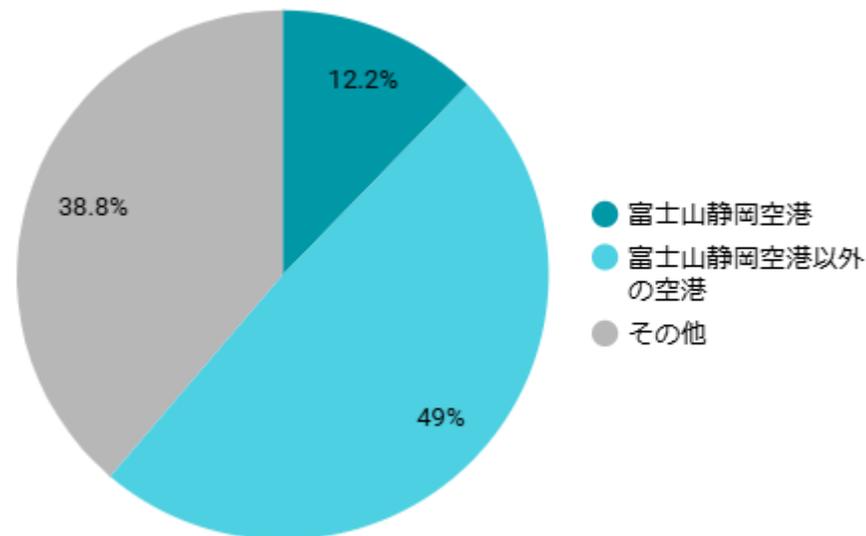
# 調査結果 > 来訪に係る動向 > 入出国の場所

- 入国・出国ともに、90%程度が域外であり、富士山静岡空港及び清水港の割合は低かった。
- 富士山静岡空港から入国又は出国したと回答した方の居住国は、主に韓国であった(7/8件)。

入国



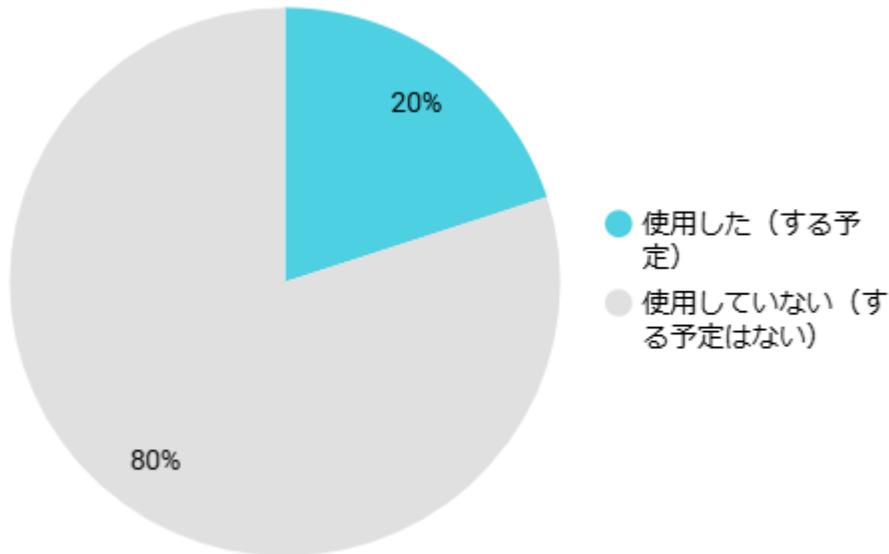
出国



# 調査結果 > 来訪に係る動向 > JR PASS/Instagram

- JAPAN RAIL PASSの使用(予定)がある方は20%と少数であった。

## JR PASS



※後期調査のみ質問 n=35

- Instagramで調べた言葉は、回答が9件と少数であったが、以下の要素が挙げられていた。

## Instagramで調べた言葉

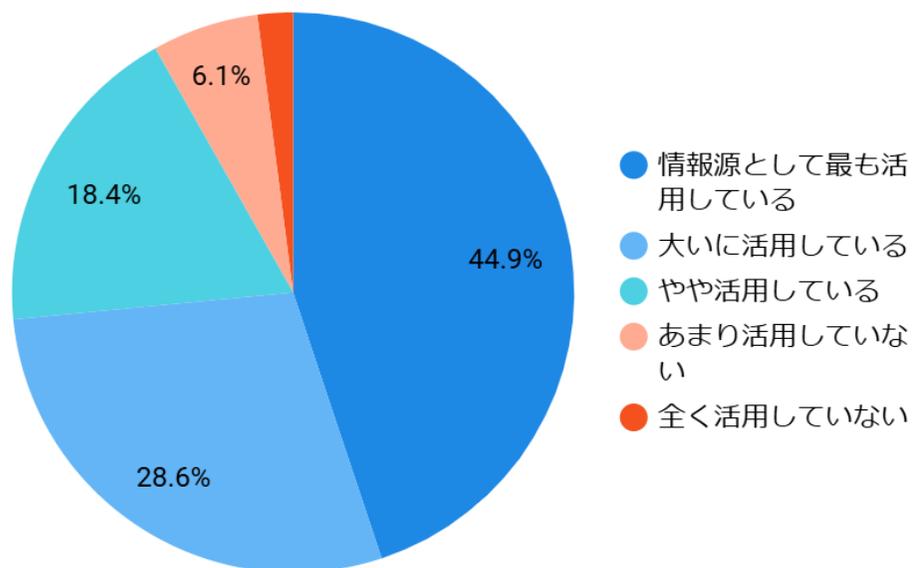
- ○○ホテルの近くの静岡の城
- △△の近くの観光スポット
- 三保
- 日本平
- 富士山
- おすすめスポット (Interesting places)

※後期調査のみ質問 任意回答 n=9

# 調査結果 > 来訪に係る動向 > GoogleMap

- GoogleMapの活用状況は、情報源として最も活用が最多で約45%、大いに活用・やや活用を含めると約92%と大多数が活用していることが伺えた。

## GoogleMapの活用状況



- GoogleMapで調べた場所は、有名観光地のほか、レストラン、ホテル、商店街などのカテゴリが挙げられていた。

## 調べた場所

(自由記述回答をアフターコーディングにより分類・集計)

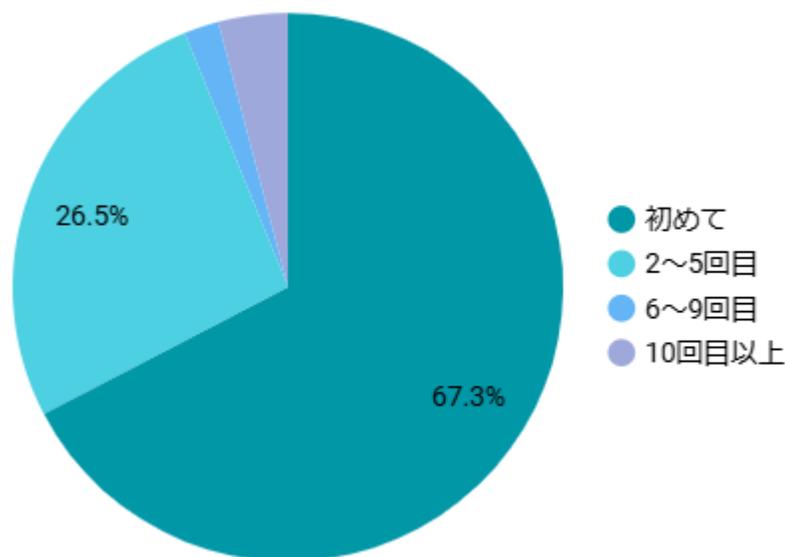
項目	検出数
レストラン・グルメ	4
駿府城	3
日本平	3
富士山	3
久能山東照宮	2
県庁	2
清水(港)	2
浅間神社	2
ホテル	2
三保松原	2
商店街	1

※後期調査のみ質問 任意回答 n=18

# 調査結果 > 当地域の滞在について > 来訪回数/泊数

- これまでに当地域を訪れた回数は、初めてが最多の約67%であったが、一部には10回目以上のコアリピーターの存在も確認できた。

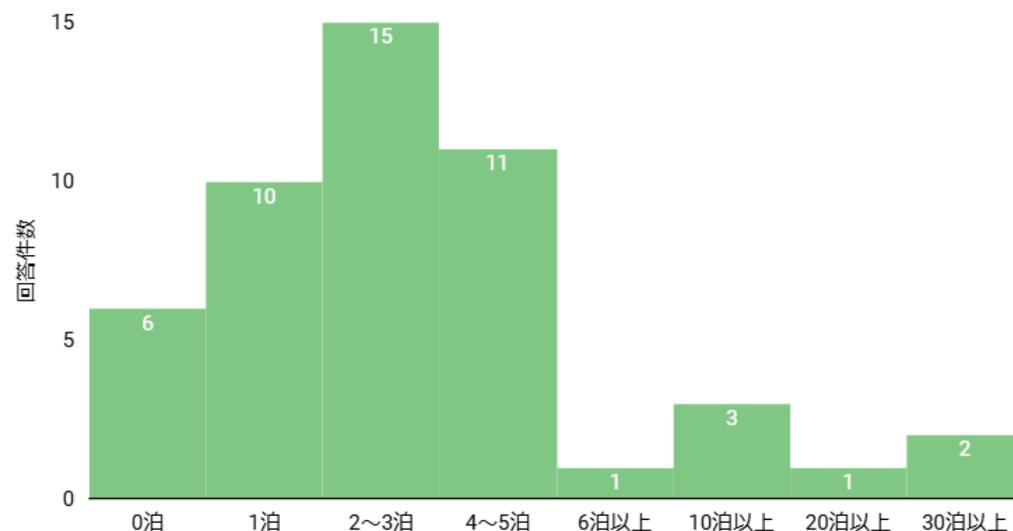
当地域への来訪回数



- 当地域への泊数は2~3泊のショートトリップが中心となっているが、長期滞在者も一部には見られることから平均泊数は4.5泊(中央値2泊)となった。

今回の訪問における当地域への宿泊日数

平均泊数 **4.5泊**



※”30泊以上”の回答は30泊として平均を算出

# 調査結果 > 当地域の滞在について > 推奨度

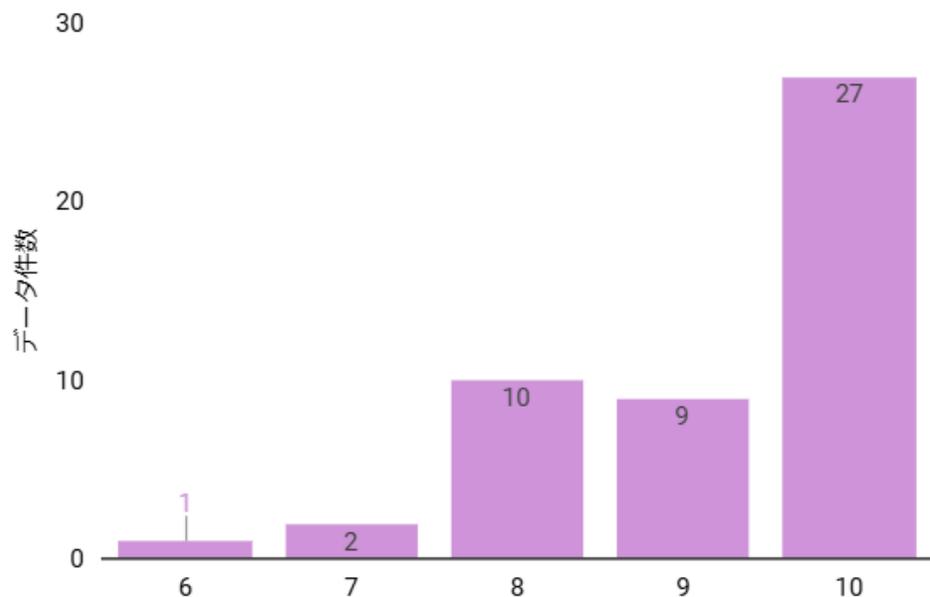
- 推奨度は満点である10点と回答した割合が最も高く、NPSは+71と高水準であった。全体として、**当地域への来訪に高いロイヤルティ**を抱えていることが伺える。
- ただしNPSはサンプルが少ない場合に極端な値を取りやすいため、継続した調査により精度を高める必要がある。

## 当地域への訪問を親しい友人等に勧める割合

NPS

+71

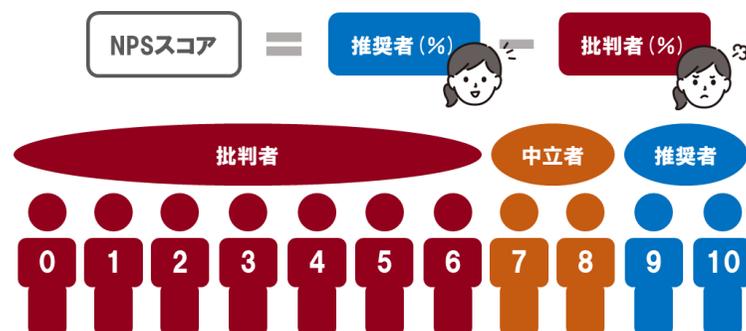
※参考:「するが企画観光局 来訪者調査(日本人向け)」  
令和5年度平均NPS +34



## ※NPS(Net Promoter Score) について

ロイヤルティ(企業やサービスに対して抱く強い支援の気持ち)を測る指標

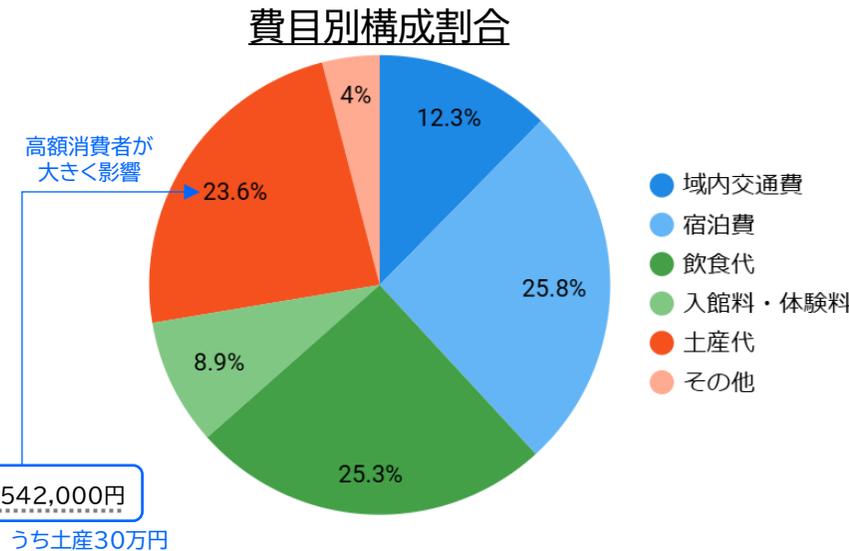
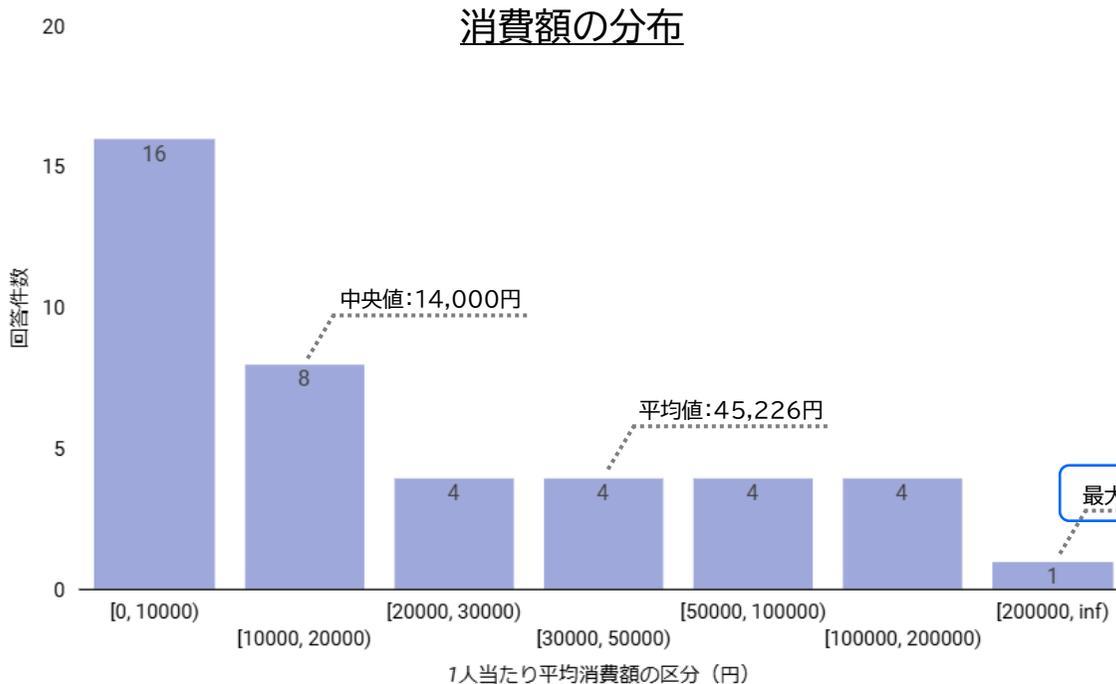
「この地域への旅行を親しい友人や同僚に薦める可能性は10点満点中の何点か」という質問を行い、推奨者(10点・9点)の割合から批判者(0点～6点)の割合を引くことで算出



# 調査結果 > 当地域の滞在について > 消費額(総額)

※個人旅行とツアーでは消費の形態が異なると考えられ、また本調査ではツアー利用の回答者が12%と少数だったため、消費額分析では個人旅行のみを対象とする  
n=41

- 当地域における消費動向は、1人当たり20,000円未満の低額消費が中心であった。
- 1人当たり平均消費額は45,226円であるが、一部の高額消費が平均値を押し上げている点に留意すべきである。
- 1人1泊当たり平均消費額は11,902円で、全国平均の21,013円に比べ9,000円程度少ない。
- 費目別割合では、宿泊費、飲食代、土産代が各25%前後であった。(ただし土産代は高額消費者の影響大)

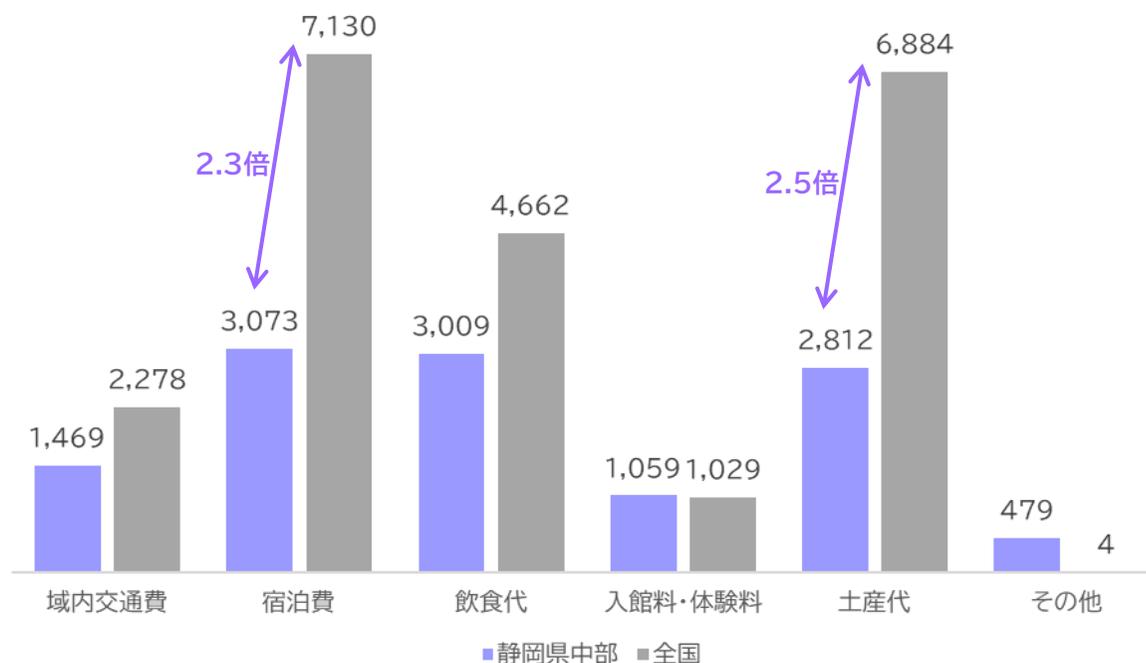


# 調査結果 > 当地域の滞在について > 消費額(費目別)

※個人旅行とツアーでは消費の形態が異なると考えられ、また本調査ではツアー利用の回答者が12%と少数だったため、消費額分析では個人旅行のみを対象とする  
n=41

- 全国調査の値と比較すると、宿泊費、飲食代、土産代に乖離が見られる。
- 特に宿泊費、土産代は2倍以上の乖離があり、当地域の消費額向上に向けた課題であることが示唆される。

## 1人1泊当たりの費目別消費額(円/人泊)



※「観光庁 インバウンド消費動向調査2024年7-9月期集計表」  
表2-1より当財団算出(全国席・地域)  
※人泊計算に用いている平均泊数は9.4泊  
※「交通費」を「域内交通費」、「娯楽サービス費」を「入館料・体験料」、「買物代」を「土産代」として比較している。



# 調査結果 > 当地域の滞在について > 不便だった点

- 「特になし」が最も多かったため回答は少数だが、以下の意見が挙げられていた。

## 交通

- タクシーを拾うのに苦労した
- 公共交通機関
- 電車の利用がわかりにくかった
- バスは使いにくかった
- 日本平へのバスの本数が少なすぎる
- 情報と交通

## 言語と情報

- 言語
- 詳細な観光地案内
- 情報と交通
- 英語を話せる人がほとんどいない

※後期調査のみ質問 任意回答 n=26



## インバウンド来訪者調査報告書 (2025年3月)

公益財団法人するが企画観光局  
(地域連携DMO)

〒420-0837 静岡市葵区日出町1-2 TOKAI日出町ビル9階

TEL 054-204-6677(調査戦略担当)

FAX 054-205-3639

MAIL [info@suruga-mtb.or.jp](mailto:info@suruga-mtb.or.jp)